

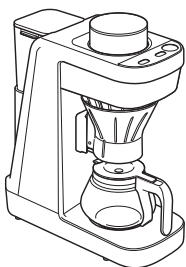
家庭用

コーヒーマーカー



取扱説明書

保証書つき



このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

この製品は日本国内交流100V専用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。

また、海外でのアフターサービスもできません。

This product uses only 100 V (volts), which is specifically designed for use in Japan. It cannot be used in other countries with different voltage, power frequency requirements, or receive after-sales service abroad.

本产品仅限于日本国内的 100V 交流电压下使用。不可在日本之外的国家的不同电压和电源频率下使用。在海外也不提供售后服务。

もくじ

| はじめに

- 2ー安全上のご注意
- 7ー各部のなまえと付属品

| 使いかた

- 9ーはじめて使うとき・しばらく使わなかったとき
- 10ーコーヒーのいれかた
- 17ーグラインドの使いかた

| お手入れ

- 18ーお手入れのしかた
- 20ーシャッター上周辺の粉残りが気になるとき
- 20ーお湯の出具合が悪くなったとき・いつもより抽出時間が長くなるとき

| 困ったときは

- 21ー故障かな?と思ったら

| その他

- 22ー仕様
- 23ー消耗品・別売品のお買い求めについて
- 23ー保証とサービスについて
- 23ー連絡先

点検、修理などを依頼されるときなどに記入しておくとう便利です。

ご購入年月日	年	月	日
ご購入店名	TEL	()	

安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。
※本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。

- ◇ お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- ◇ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、以下の区分で説明しています。



警告

死亡や重傷を負うことが想定される内容です。



注意

傷害を負うことが想定される、または物的損害の発生が想定される内容です。

図記号の
説明



してはいけない「禁止」内容です。



実行しなければならない「指示」内容です。



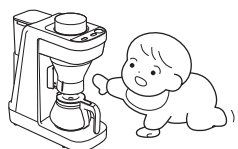
警告

乳幼児には特に注意



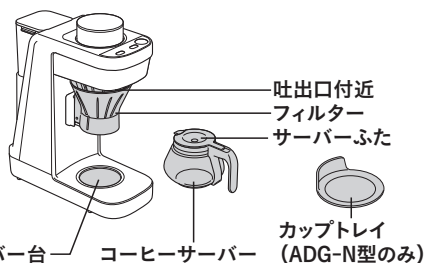
禁止

子どもだけで使わせたり、
乳幼児の手が届くところで使わない。
やけど・感電・けがのおそれ。



接触禁止

使用中や使用後しばらくは高温部
(フィルター・サーバーふた・コーヒーサーバー・
サーバー台・吐出口付近・カップトレイ*など)に
さわったり、顔などを近づけない。
やけどをするおそれ。
特に乳幼児には、さわらせないように注意する。



警告

改造はしない



分解禁止

修理技術者以外の人とは、分解したり、修理をしない。

感電・けがのおそれ。火災の原因。修理は、お買い上げの販売店または「連絡先→P.23」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、修理受付サイトにご連絡ください。



警告

異常・故障時



必ず実施

異常・故障時には、直ちに使用を中止する。

そのまま使用すると、感電・けがのおそれ。火災の原因。

〈異常・故障例〉

すぐに差込プラグを抜いて、お買い上げの販売店または「連絡先→P.23」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、修理受付サイトに点検・修理を依頼する。

- ご使用中、電源コード・差込プラグが異常に熱くなる。
- いつもより異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする。
- 電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする。
- 水タンクや本体から水もれする。
- その他の異常や故障がある。

⚠ 注意

使用する場所に注意



禁止

次のような場所では使わない。

- 不安定な場所
- 直射日光が長時間あたる場所
- カーペット・ビニール袋などの上
- 火気の近く
- 壁や家具の近く
- 室温の高い場所
- 水のかかりやすい場所
- 熱に弱いテーブルや敷物などの上
- IHクッキングヒーターの上
- 底部がぬれるような場所
- アルミシートや電気カーペットの上
- 屋外

感電・漏電・けが・やけどのおそれ。火災・ショート・発煙・発火・故障の原因。
本体の変形、またはテーブル・敷物・壁・家具の変色・変形の原因。



必ず実施

キッチン用収納棚(スライド式テーブル)を使うときは、下記に注意する。

- 中に蒸気がこもらないようにする。
- スライド式テーブルは、蒸気があたらないように引き出して使う。
- 操作部に大量の蒸気があたらないようにする。
- 置く場所の耐荷重を確認してから使う。
- 差込プラグに蒸気があたらないようにする。

感電・けが・やけどのおそれ。
火災・発火・傷み・変色・変形・故障の原因。

⚠ 警告

使用中・使用後



禁止

コーヒーマシーナ (またはカップトレイ*とマグカップ) をセットしていない状態で使わない。

やけどのおそれ。故障の原因。

⚠ 注意

使用中・使用後



禁止

倒したり落したりぶつかけたり、強い衝撃を与えない。

破損してけがをするおそれ。



禁止

運転中にフィルター・コーヒーマシーナ (またはカップトレイ*とマグカップ) をはずさない。

やけどのおそれ。テーブル・敷物を汚す原因。



禁止

コーヒーマシーナ (またはカップトレイ*とマグカップ) をのせたまま本体を動かさない。

やけど・けがのおそれ。



必ず実施

続けて使用するときには、本体の熱が冷めるまで(約10分)待つ。

すぐに水を入れたり、動かしたりすると、蒸気が噴出してやけどをするおそれ。



必ず実施

お手入れは運転を停止して差込プラグを抜き、本体が冷めてから行う。

やけど・けがのおそれ。

安全上のご注意

末長くご使用いただくためのご注意

- P.18「使うたびに洗うもの」にある部品は、使うたびにお手入れする。
にのびの原因。
- 食器洗い乾燥機や食器乾燥器などを使わない。(ホッパーふた・ホッパー・フィルター・サーバーふた・コーヒーサーバーは除く)
変形・破損の原因。食器洗い乾燥機や食器乾燥器などを使える部品については、P.19「食器洗い乾燥機や食器乾燥器などを使用するとき(ホッパーふた・ホッパー・フィルター・サーバーふた・コーヒーサーバーのみ)」の内容を守って使用する。

- 煮沸しない。
変形・破損の原因。
- ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用した場合は、よりこまめにお手入れする。
本体内部にカルシウム分が付着し、抽出時間が長くなったり、最後までドリップできなくなるおそれ。また、付着したカルシウム分がはがれて本体内部のお湯や蒸気の出口をふさぐなど、故障の原因。
- 業務用として使わない。
故障の原因。

各部についての注意事項

本体

フィルター
検知スイッチ

ホッパー
検知スイッチ

警告



水ぬれ禁止

水につけたり、水をかけたりしない。

- 丸洗いしない。
- 本体内部に水を入れない。
本体内部に水が入り、感電のおそれ。
ショート・故障・発火の原因。



禁止

ホッパー検知スイッチとフィルター検知スイッチを押さない。
けが・やけどのおそれ。

注意



禁止

本体にもたれかかったり
体重をのせない。
前側に重心がかかると変形・破損・
故障の原因。
また、本体が倒れてけがのおそれ。

グランドセット

外刃

内刃

グランド本体

注意



プラグを抜く

グランドセットの取り付け・取り
はずしをするときは、運転を停止し
て差込プラグを抜いてから行う。
けがのおそれ。



接触禁止

グランドセットの内刃・外刃
は鋭利なので直接手をふれな
い。また、内刃・外刃が露出した
ままで使わない。
けがのおそれ。グランドセットのお
手入れをするときは付属のお手入
れブラシを使用する。→P.19

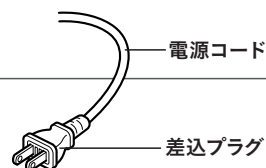


水ぬれ禁止

水につけたり、水をかけたりしない。
● 丸洗いしない。
● グランド本体内部に水を入れない。
すき間に水がたまり、さび・故障の
原因。

電源コード・差込プラグ

警告



禁止

- ・電源コードは、破損したまま使わない。また、電源コードを傷つけない。
(加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものをのせる・挟み込むなど)
- ・電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。
- ・運転中に差込プラグを抜かない。



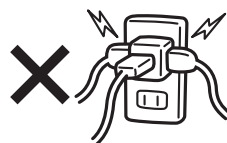
ぬれ手禁止

- ・ぬれた手で差込プラグの抜き差しはしない。



必ず実施

- ・交流100Vで使用する。(日本国内100V専用)
- ・定格15A以上のコンセントを単独で使う。
(タコ足配線での使用はしない)
- ・差込プラグにほこりが付着している場合は、よくふき取る。
- ・差込プラグは根元まで確実に差し込む。



感電・けがのおそれ。火災・ショート・発煙・発火の原因。

破損した場合は、お買い上げの販売店または「連絡先→P.23」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、修理受付サイトまで修理をご依頼ください。

注意



プラグを抜く

- ・使用時以外やお手入れする前は、差込プラグをコンセントから抜く。



必ず実施

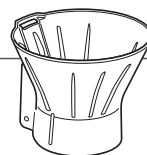
- ・必ず差込プラグを持って引き抜く。

けが・やけどのおそれ。感電・ショート・発火・漏電火災の原因。

壁・家具などの損傷の原因。

フィルター

注意



禁止

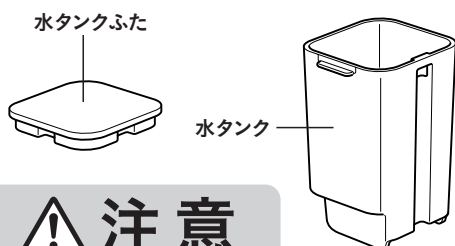
指定の大きさ以外のペーパーフィルターを、フィルターにセットして使わない。
→P.11

うまくドリップできないおそれ。
故障・コーヒーがあふれる原因。

安全上のご注意

各部についての注意事項

水タンク



⚠ 注意



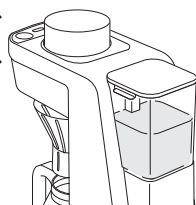
水タンクに水が入っていない状態で通電しない。
火災・故障の原因。



抽出中は、水タンクをはずさない。
やけどのおそれ。水もれ・故障の原因。

末長くご使用いただくためのご注意

- 水タンクに水以外のものを入れない。
故障の原因。
- 水タンクに水を入れたまま放置しない。
故障・変色・におい・腐敗・水もれの原因。



コーヒーサーバー



⚠ 注意



コーヒーサーバーは、専用のもの以外は使わない。
コーヒーがあふれて、やけどや故障するおそれ。また、テーブルや敷物を汚す原因。



コーヒーサーバーの中にコーヒーが入っていない状態でのカラだきはしない。
故障や火災の原因。



コーヒーサーバーを直接火にかけたり、電子レンジで使わない。
破損して、やけどやけがの原因。



コーヒーサーバーを冷蔵庫や冷凍庫に入れない。
破損して、けがの原因。



コーヒーサーバーが熱いうちに、水の中に入れたり、水をかけたり、ぬれた場所に置かない。
傷がつくと破損の原因。もし割れた場合は、取り除くときに手を切らないよう充分に注意する。

カップトレイ (ADG-N型のみ)

⚠ 注意



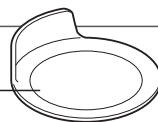
カップトレイ*を使う場合、付属のコーヒーサーバーは使わない。
やけどやテーブル・敷物を汚す原因。



必ず実施

マグカップに直接ドリップする場合、必ずカップトレイ*を使用する。
コーヒーがあふれて、やけどや故障するおそれ。また、テーブルや敷物を汚す原因。

カップトレイ (ADG-N型のみ)



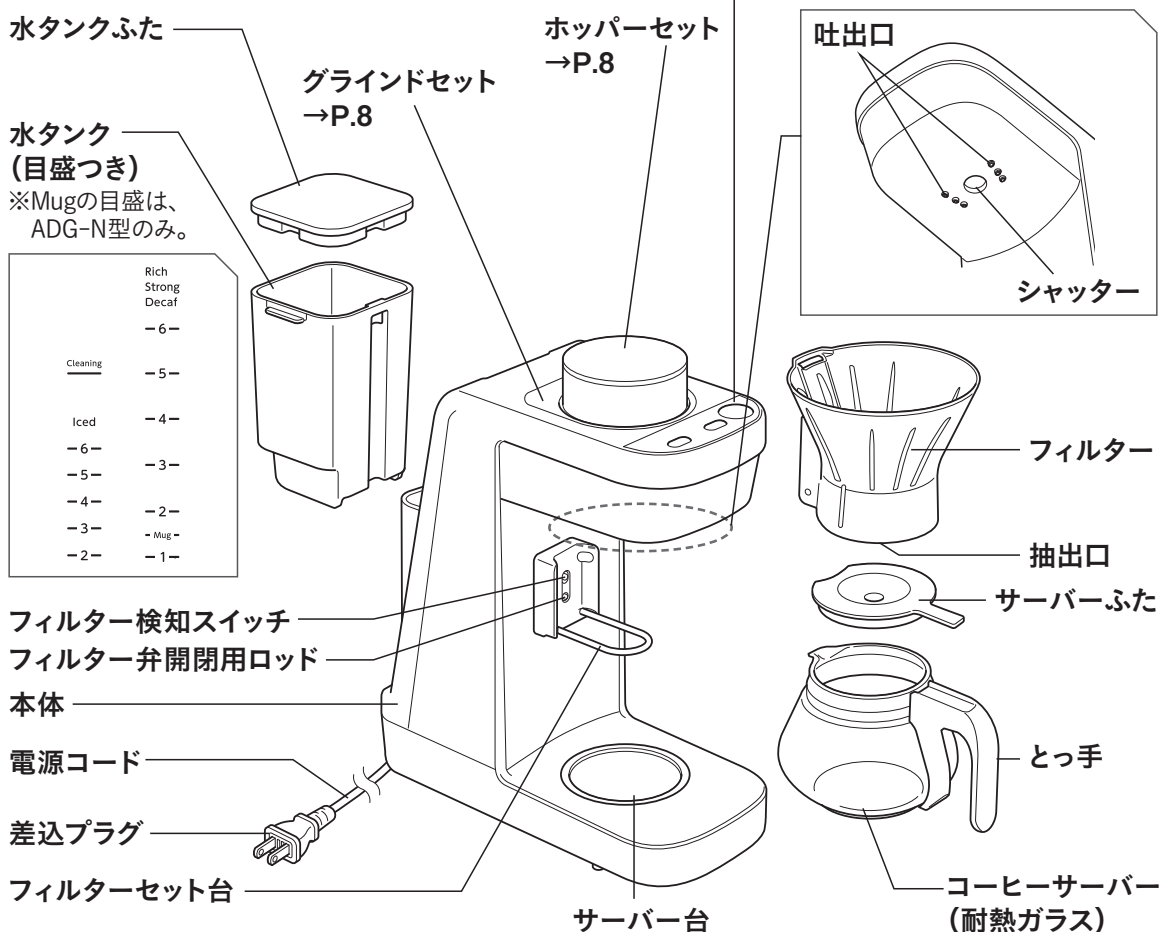
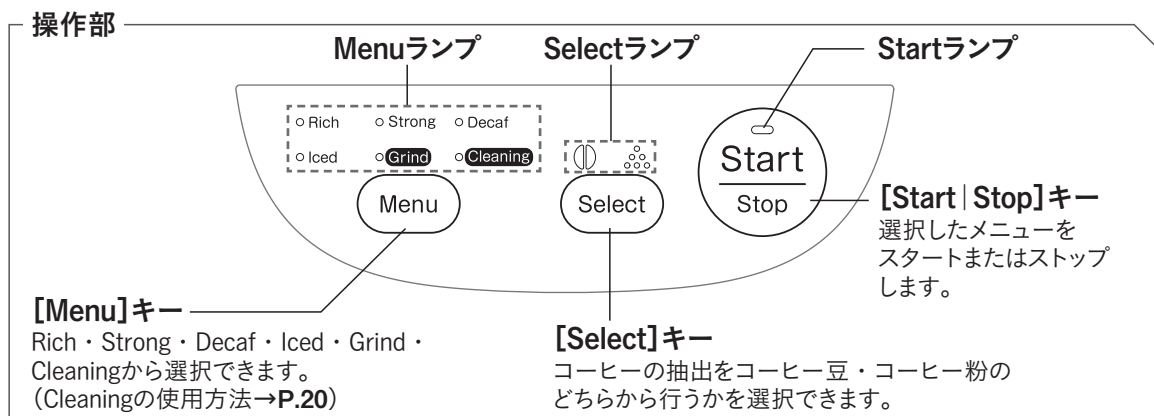
マグカップに直接ドリップする場合、抽出後に保温しない。
故障や火災の原因。



指定のマグカップ以外は使わない。
→P.7・13
コーヒーがあふれて、やけどや故障するおそれ。また、テーブルや敷物を汚す原因。

各部のなまえと付属品

◇箱を開けたら、まず確認してください。

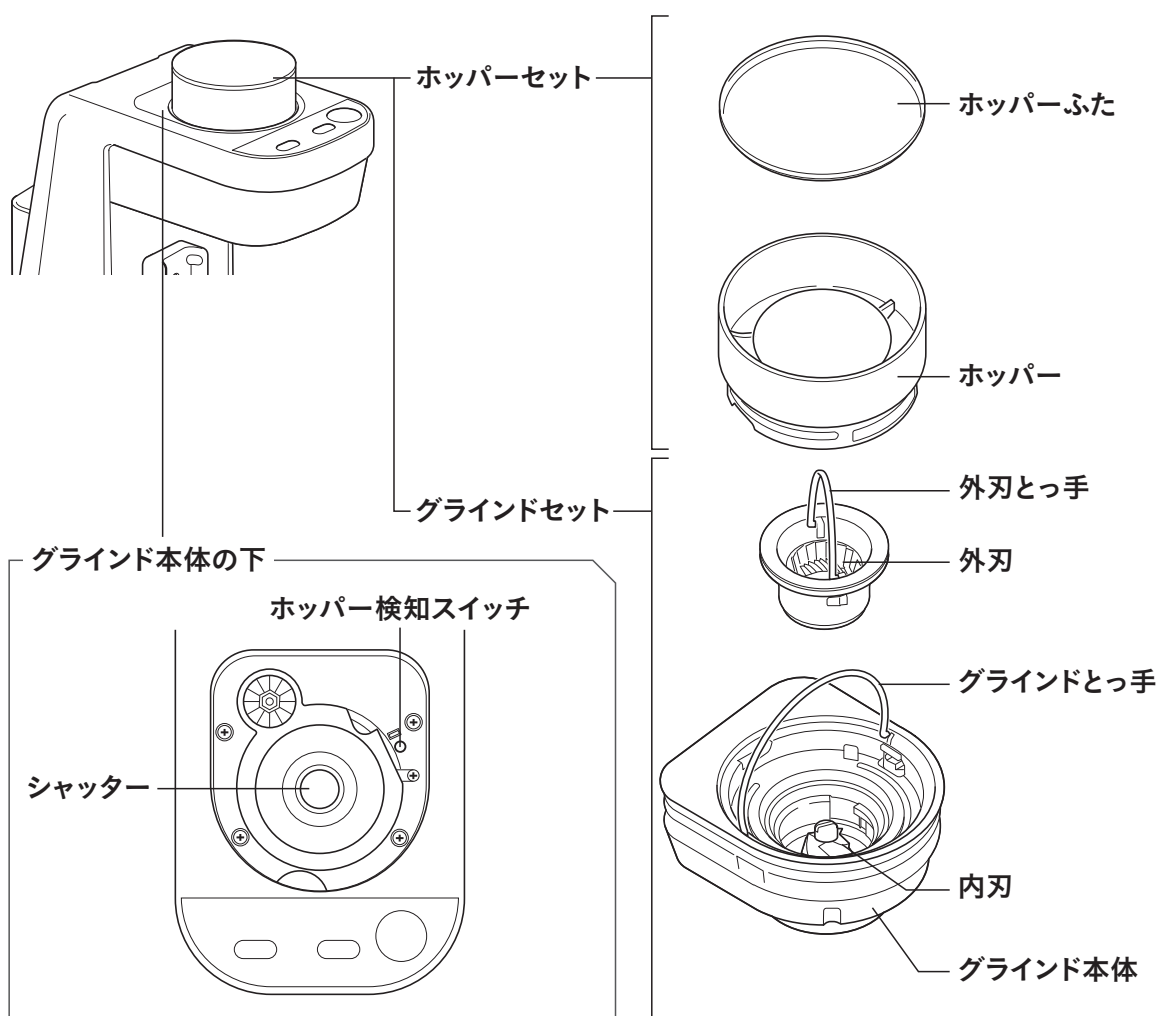


カップトレイ (ADG-N型のみ)

マグカップに直接抽出するとき 사용합니다。
高さ7～10cm、容量250mL以上、耐熱温度120度以上のマグカップを使用する。
※マグカップは付属していません。



各部のなまえと付属品

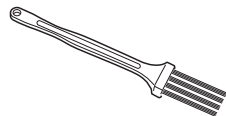


付属品の確認

計量スプーン
すり切り1杯 約10g



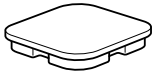
お手入れブラシ
グラインド本体・外刃の
お手入れに使用します。



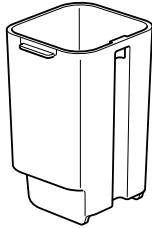
はじめて使うとき・しばらく使わなかったとき

1

本体・グランド本体・外刃以外の部品を洗う。→P.18



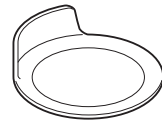
水タンクふた



水タンク



計量スプーン



カップトレイ (ADG-N型のみ)

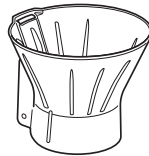
以下の部品は、食器洗い乾燥機や食器乾燥器が使用できます。→P.19



ホッパーふた



ホッパー



フィルター



サーバーふた



コーヒーサーバー

⚠️ **ご注意** ・本体・グランド本体・外刃は洗えません。

2

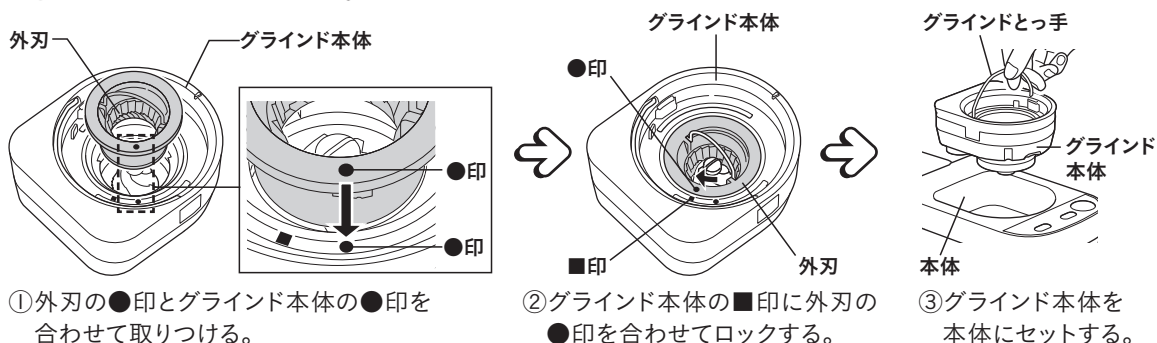
本体内部の経路の洗浄をするために、
1 ～ 2回ドリップする。→P.10 ～ 16

- ◇ 水は、水タンクのRich・Strong・Decafの目盛「5」まで入れます。
- ◇ [Menu]キーを押してRichを選択した後、[Select]キーを押して「コーヒー粉」を選択し、ドリップしてください。
(ペーパーフィルター・コーヒー豆・コーヒー粉はセットしないでください)
- ◇ ドリップ後のお湯はすてます。
- ◇ クエン酸を使って洗浄することもできます。
(お湯の出具合が悪くなったとき・いつもより抽出時間が長くなる時→P.20)

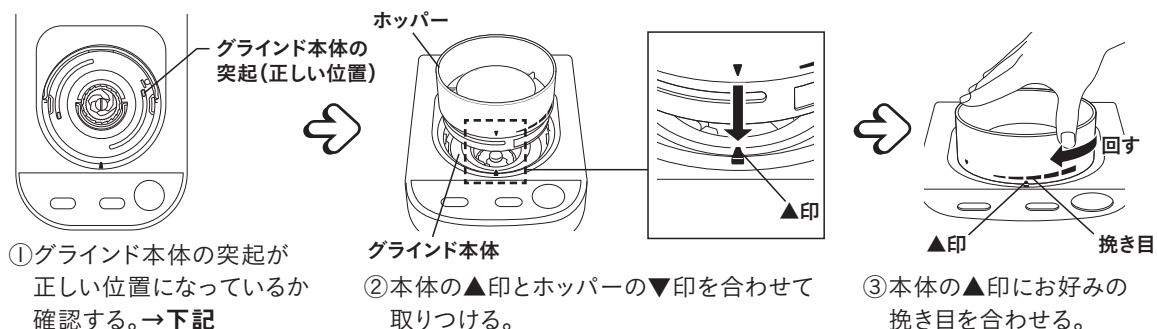
⚠️ **ご注意** ・水タンク以外に水を入れない。

コーヒーのいれかた

1 外刃をグランド本体に取りつけ、本体にセットする。



2 ホッパーをグランド本体に取りつけ、コーヒー豆の挽き目を設定する。

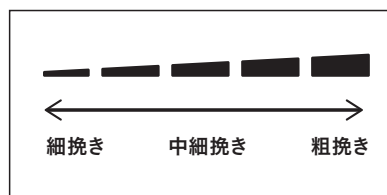


《コーヒー豆の挽き目について》

コーヒー豆の挽きかたには、細挽き・中細挽き・粗挽きなどがあり、挽いた豆の粒度によって、コーヒーの風味が変わります。

※細挽きになるほど、味が濃くなります。(目安は下記参照)

- 細挽き…上白糖とグラニュー糖の間ほどの粒度。
- 中細挽き…グラニュー糖ほどの粒度。
- 粗挽き…ザラメ糖ほどの粒度。



△ご注意

- ホッパーふた・ホッパーがぬれている場合は、乾いた布でふき取ってから取りつける。コーヒー豆が付着して、ホッパー内に残る原因になります。
- グランド本体の突起は、正しい位置に合わせる。正しい位置に合わせないと、挽き目を正しく設定できません。



3

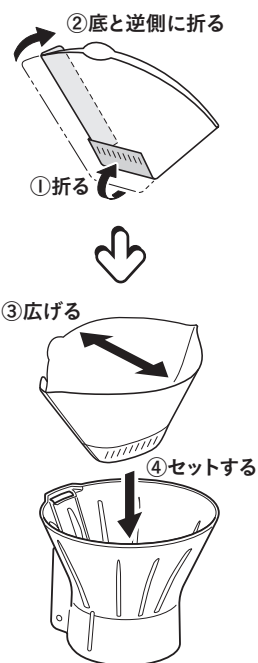
ペーパーフィルターを折り、ペーパーフィルターをフィルターにセットする。

◇ペーパーフィルターは、市販の台形型を使用してください。
(円錐型は使用できません)

《ペーパーフィルターのサイズと折りかた》

タイプ	サイズ	折りかた
台形型	1×4または103	底と横のミシン目を、約1cm折り曲げる。

※ペーパーフィルターとフィルターの間にすき間ができますが
問題ありません。



△ご注意

- ペーパーフィルターがフィルターからはみ出さないように、奥まで収まる位置にセットする。

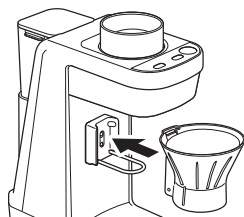
コーヒーのいれかた

4 コーヒー豆またはコーヒー粉を下記のようにセットする。

コーヒー豆から抽出する場合

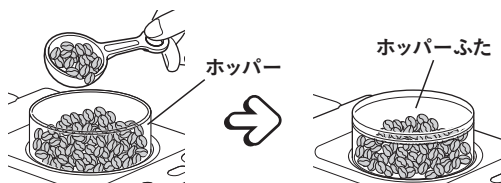
①フィルターを本体にセットする。

◇フィルターを本体のフィルターセット台にのせるように、奥まで確実にセットしてください。



②コーヒー豆をホッパーに入れ、ホッパーふたを閉める。

◇入れたコーヒー豆は、1回の動作ですべて挽かれます。

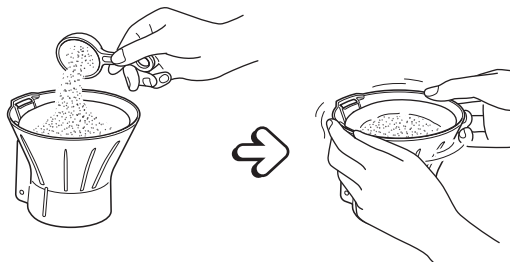


△ご注意

- ホッパーにコーヒー豆以外のものを入れない。
- コーヒー豆の種類によって、挽かれる量が少なくなることがあります。
- ホッパーふたが閉まらない量のコーヒー豆を入れたり、油分が多いコーヒー豆を入れた場合、コーヒー豆がホッパーに残る原因になります。
- 油分が多いコーヒー豆の場合、ホッパーに豆が残ることがあります。

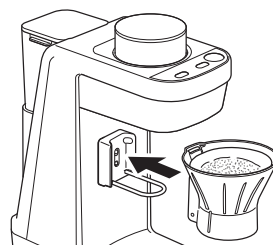
コーヒー粉から抽出する場合

①付属の計量スプーンで、コーヒー粉をペーパーフィルターに入れて上面をならす。



②フィルターを本体にセットする。

◇フィルターを本体のフィルターセット台にのせるように、奥まで確実にセットしてください。



《コーヒー豆(粉)を入れる目安》

- コーヒー豆(粉)はお好みにより加減してください。
- カップ数より少ない量はつくらないでください。
- アイスコーヒーをつくるときは、アイス用コーヒー豆(粉)を使います。

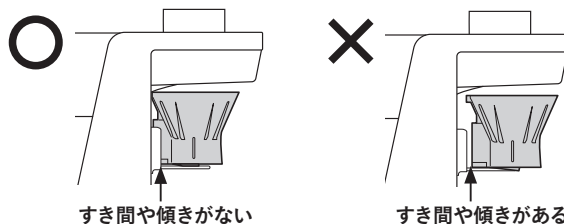
カップ数	コーヒー豆(粉) (計量スプーンすり切り) Rich・Strong・Decaf・Iced*
1	1 杯
2	2 杯
3	3 杯
4	4 杯
5	5 杯
6	6 杯

*Icedで抽出する場合は、2カップからにしてください。

*Icedは氷の溶け具合によって、できあがり量が変わります。

△ご注意

- フィルターと本体の間にすき間や傾きがなく、確実にセットされていることを確認する。うまくドリップできない・故障・コーヒーがあふれる原因になります。

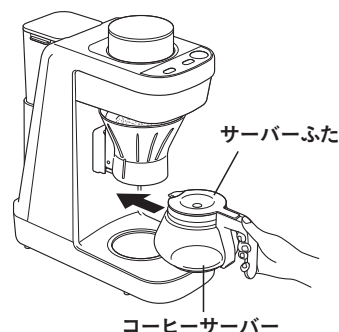


5

サーバーふたをコーヒーサーバーに取りつけ、本体にセットする。

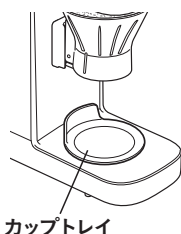
△ご注意

- コーヒーサーバーの底をサーバー台に合わせて確実にセットする。セット位置がずれていると、コーヒーがこぼれる原因になります。
- サーバーふたは必ず取りつける。取りつけないとコーヒーがこぼれる原因になります。
- 専用のコーヒーサーバー以外は使わない。コーヒーがあふれてやけどや故障のおそれがあります。また、テーブル・敷物を汚す原因になります。

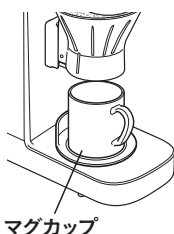


カップトレイ使用時 (ADG-N型のみ)

- ① カップトレイを
図の向きで本体に
セットする。



- ② マグカップを
カップトレイの中央に
セットする。



△ご注意

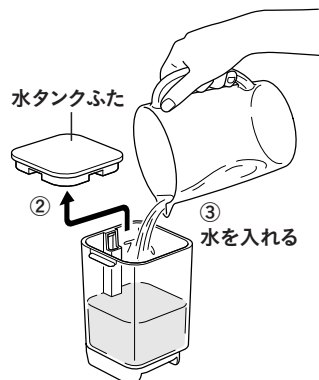
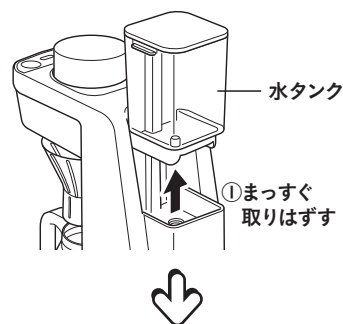
- マグカップは高さ7～10cm、容量250mL以上のものを使用し、必ずカップトレイの上に確実に置く。また、マグカップを本体に直接セットしない。コーヒーが抽出されなかったり、あふれて、やけどや故障の原因になります。
- 熱に弱い素材のカップ（耐熱温度120度以下のもの）は使用しない。変形のおそれがあります。
- マグカップの形状や置きかたによっては、コーヒーが飛び散るおそれがあります。

6

水タンクをはずし、水タンクに水を入れる。

- ◇ つくるコーヒーのカップ数に応じた目盛まで水を入れます。
- ◇ カップトレイ*使用時はMugの目盛に合わせてください。
(Mugの目盛はADG-N型のみ)

	Rich
	Strong
	Decaf
	— 6 —
Cleaning	— 5 —
	— 4 —
Iced	— 3 —
— 6 —	— 2 —
— 5 —	— Mug —
— 4 —	— 1 —
— 3 —	
— 2 —	



△ご注意

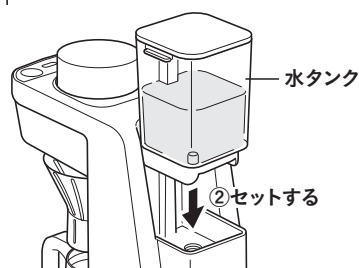
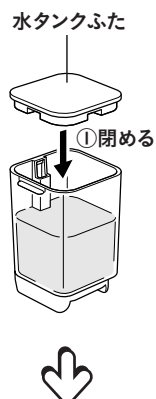
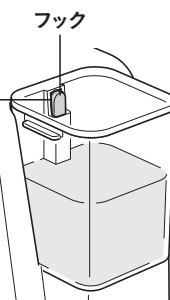
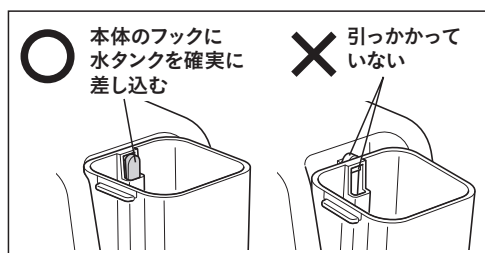
- 水タンクは、必ず本体からはずして水を入れる。本体にセットしたまま水を入ると、水管に水が流れ込み、抽出量が多くなります。
- 水タンクには水以外を入れない。
- Rich・Strong・Decafの目盛6（アイスコーヒーのときはIcedの目盛6・カップトレイ*使用時はMugの目盛）を超えて水を入れない。コーヒーサーバーからコーヒーがあふれるおそれがあります。（Mugの目盛はADG-N型のみ）
- 水タンクには、つくるコーヒーの量に合わせて、杯数の水目盛まで水を入れてください。水の量がコーヒー豆（粉）の量と合っていないと、コーヒーが濃くなったり薄くなったりする原因になります。

コーヒーのいれかた

7

水タンクふたを閉め、 水タンクを本体にセットする。

◇ 水タンクは、本体のフックに確実にセットしてください。

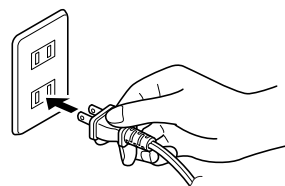


⚠ ご注意

- 水タンクが浮いた状態で使用しない。ドリップが途中で終了するおそれがあります。
- 水タンクは本体に確実にセットする。セットが不十分な場合、蒸気が多量に発生して、やけどや水タンクの変色・変形のおそれがあります。
- 水タンクのセット後は、本体からはずさない。本体内にたまった水が逆流して、水もれや故障の原因になります。

8

差込プラグをコンセントに差し込む。



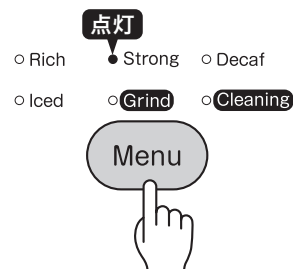
9

〔Menu〕キーを押してメニューを選ぶ。

◇ 〔Menu〕キーを押すごとに、メニューが切り替わります。
(選択したMenuランプが点灯)

Rich → Strong → Decaf → Iced → Grind → Cleaning

〈例：Strongの場合〉



《メニューの特徴》

Rich	豆の持つ風味を引き出しつつ、後味はスッキリ仕上げるように抽出。
Strong	力強い味わいとコクを楽しめる抽出。
Decaf	デカフェ豆を風味豊かに抽出。
Iced	雑味を抑えた、アイスコーヒーに最適な濃度で抽出。
Grind	グラインド機能のみを使用できます。→P.17
Cleaning	本体側(グラインドセットの下)のお手入れや本体内部経路のミネラル成分を取り除くときに使用します。→P.20

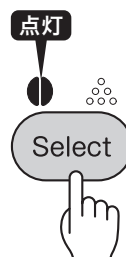
10

[Select]キーを押して、「コーヒー豆」または「コーヒー粉」を選ぶ。

◇ 押すごとに「コーヒー豆」と「コーヒー粉」が切り替わります。
(選択したSelectランプが点灯)



◇ コーヒー豆からいれる場合は「コーヒー豆」、コーヒー粉からいれる場合は「コーヒー粉」を選択してください。



⚠️ ご注意

- Grind・Cleaningの場合、[Select]は選択できません。
- コーヒー豆をホッパーに入れている場合は、必ず「コーヒー豆」を選択する。「コーヒー粉」を選択すると、グラインドセットが動作せず、お湯だけが出ます。その場合は、P.11③の手順からやり直してください。

11

[Start | Stop]キーを押す。(ドリップ開始)

◇ [Start | Stop] キーを押して、抽出がはじまるとピーピーと音が鳴って Startランプが点灯します。

《できあがり時間の目安》

	コーヒー豆からいれた場合	コーヒー粉からいれた場合
Rich	6分～13分30秒	4分30秒～9分30秒
Strong	6分30秒～14分	5分～10分
Decaf	6分30秒～14分	5分～10分
Iced	7分～11分30秒	5分30秒～7分30秒

※できあがり時間は、室温・水量・コーヒー豆(粉)の量などにより変わります。
※コーヒー粉の量や選んだメニューによって、コーヒー粉が湯に浸るまで時間がかかる場合があります。

※ドリップ中にカチッと音が鳴ることがありますが、抽出口を開閉するときの作動音です。故障ではありません。

《無操作状態が続いたとき》

[Start | Stop] キーを押さないまま無操作状態が約3分続くと、すべてのランプが消灯します。いずれかのキーを押すと、消灯前の状態に戻ります。

《抽出の途中で中止したいとき》

[Start | Stop] キーを押します。中止した場合、途中からの再開はできません。新しいコーヒー豆(粉)・水をセットして、はじめてから抽出をやり直してください。



12 ドリップが終わったら、コーヒーを注ぐ。

- ◇ドリップが終わったらピーピーピーと音が鳴ります。
お湯や蒸気が完全に止まってからコーヒーサーバーを取り出し、サーバーふたをはずして、カップなどに注ぎます。
- ◇Rich・Strong・Decafを選択したときは、自動的に保温します。

〈Rich・Strong・Decafのドリップ終了後(保温時)〉



- ◇保温は30分経過すると自動で終了します。いれたての風味を楽しんでいただくため、早めに飲み切ることをおすすめします。

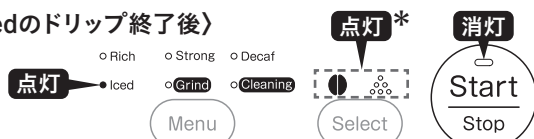
〈保温終了後〉



*抽出時に選択したMenuランプおよびSelectランプが点灯します。

- ◇保温を中止するときは[Start|Stop]キーを押します。
- ◇Icedを選択したときは、ドリップ終了後に保温を行いません。
下記の手順でアイスコーヒーをつくってください。

〈Icedのドリップ終了後〉



*抽出時に選択したSelectランプが点灯します。

《熱めのコーヒーをお好みの方》

あらかじめ熱湯などで温めておいたカップに注ぎます。

《アイスコーヒーをつくるとき》

グラスに8分目まで氷を入れてから、コーヒーを注ぎ、かきまぜて冷やします。

△ご注意

- ドリップ後しばらくは、サーバー台をさわらない。やけどのおそれがあります。
- 水タンクの水がなくなっても、しばらくはドリップが続くため、お湯や蒸気が完全に止まるまで待つ。



△ご注意

- ドリップ後しばらくは、サーバー台(左記)・カップトレイをさわらない。やけどのおそれがあります。



カップトレイ使用時
(ADG-N型のみ)
マグカップを取り出す。



抽出後は保温を中止してください。→左記

13 使用後は差込プラグをコンセントから抜き、冷めてからお手入れする。→P.18～20

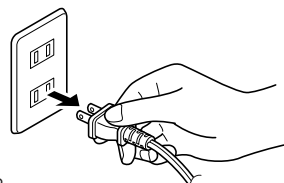
- ◇ドリップ後のコーヒー粉は、ペーパーフィルターごとに取り出します。

《続けてつくるとき》

本体が冷めるまで(約10分)待ち、P.10からの手順で再度ドリップします。

△ご注意

- 使用後しばらくはサーバー台をさわらない。やけどのおそれがあります。



グラインドの使いかた

◇コーヒー豆を挽く機能のみでも使用できます。ハンドドリップをするときなどに便利です。

- 1 P.10 ~ 12 ①~④の手順で部品をセットし、
コーヒー豆をホッパーに入れ、ホッパーふたを閉める。

- 2 差込プラグをコンセントに差し込み、
[Menu]キーを押してGrindを選び、
[Start | Stop]キーを押す。

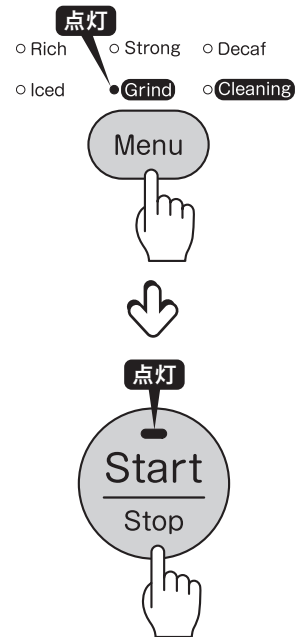
◇ [Start | Stop]キーを押して、グラインドがはじまると
ピーピーと音が鳴ってStartランプが点灯します。

《無操作状態が続いたとき》

[Start | Stop] キーを押さないまま無操作状態が約3分続くと、すべてのランプが消灯します。いずれかのキーを押すと、消灯前の状態に戻ります。

《グラインドの途中で中止したいとき》

[Start | Stop] キーを押します。中止した場合、途中からの再開はできません。新しいコーヒー豆をセットして、はじめからグラインドをやり直してください。



- 3 グラインドが終わったらフィルターをはずし、
コーヒー粉をペーパーフィルターごと取り出す。

◇ グラインドが終わったらピーピーピーと音が鳴ります。

動作が完全に止まってからフィルターをはずしてください。

◇ 取り出したコーヒー粉は、お好みでハンドドリップなどでご使用いただけます。



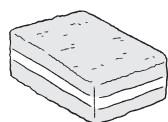
- 4 使用後は、差込プラグをコンセントから抜き、
お手入れする。→P.18 ~ 20

《続けてつくるとき》

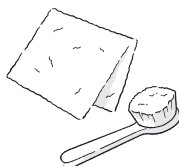
本体が冷めるまで(約10分)待ち、上記の手順で再度行います。

お手入れのしかた

◇必ず差込プラグを抜き、冷めてからお手入れしてください。



やわらかいスポンジ



やわらかい布・やわらかいブラシ

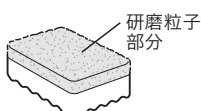


家庭用の中性台所用合成洗剤
(食器用・調理器具用)

使えないもの



- ☐ ナイロンたわし・金属たわし・金属へらなど
- ☐ スポンジの研磨粒子部分
- ☐ メラミンスポンジ



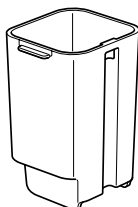
- ☐ 中性以外の洗剤
- ☐ シンナー類・クレンザー・漂白剤
- ☐ 化学ぞうきん
- ☐ 熱湯
- ☐ 食器洗い乾燥機・食器乾燥器
(ホッパーふた・ホッパー・フィルター・サーバーふた・
コーヒーサーバーは除く)

使うたびに洗うもの(洗える部品のみ)

1. 洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジやブラシなどを使って洗い、水ですすぐ。
2. 乾いた布で水分をふき取り、充分に乾燥させる。



水タンクふた



水タンク



計量スプーン

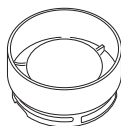


カップトレイ (ADG-N型のみ)

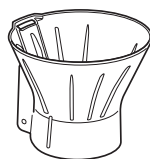
以下の部品は、食器洗い乾燥機や食器乾燥器が使用できます。→P.19



ホッパーふた



ホッパー



フィルター



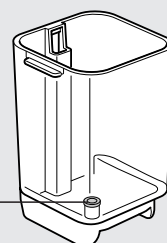
サーバーふた



コーヒーサーバー

△ご注意

- 洗剤が残っていると、樹脂などの劣化・変色の原因になるため、充分に洗い流す。
- 水タンクのパッキンははずさない。水もれの原因になります。



水タンクのパッキン

食器洗い乾燥機や食器乾燥器などを使用するとき (ホッパーふた・ホッパー・フィルター・サーバーふた・コーヒーサーバーのみ)

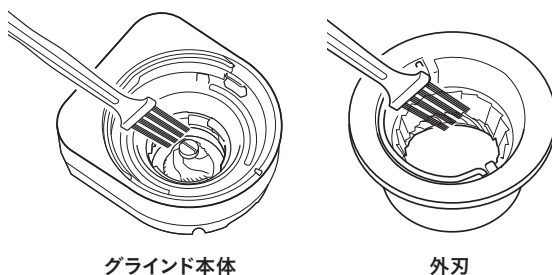
お使いになる食器洗い乾燥機や食器乾燥器などの取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください。

△ご注意

- 必ず食器洗い乾燥機専用の洗剤を使用する。
- 柑橘類成分入りの洗剤を使用しない。フィルターが白く変色するおそれがあります。
- ガラスに傷のついた状態で使用しない。割れるおそれがあります。
- ヒーターや高温部の近くを避け、温度設定ができる機種は低温に設定する。
- 高温部にふれると、フィルターが白く変色するおそれがあります。

使うたびにお手入れするもの(グラインド本体・外刃)

お手入れブラシで、残ったコーヒー豆・
コーヒー粉を取り除く。
(グラインド本体・外刃は洗えません)



△ご注意

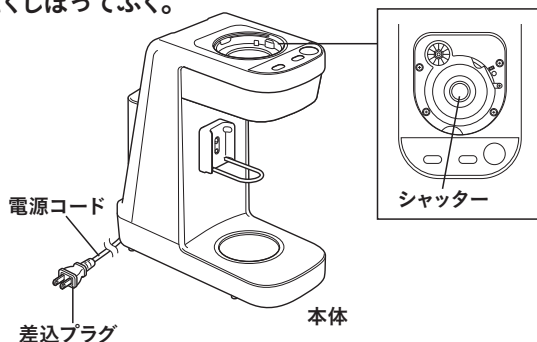
- グラインド本体・外刃を水につけたり、水をかけたりしない。さびの原因になります。
- グラインド本体の内刃・外刃にさわらない。お手入れは付属のお手入れブラシを使用する。けがの原因になります。
- コーヒー豆やコーヒー粉が付着している場合は取り除く。コーヒー豆が挽けなくなるおそれがあります。
※取れにくい場合は、竹串などの細く長い棒で取り除く。(金串などは使わない。)

汚れるたびにお手入れする箇所(本体・シャッター周辺)

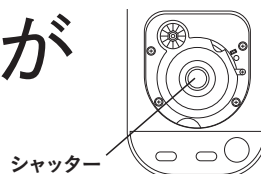
1. 洗剤をうすめた水またはぬるま湯に布をひたし、かたくしぼってふく。
(電源コード・差込プラグは乾いた布でふく。)
2. 乾いた布で洗剤分をふき取り、十分に乾燥させる。

△ご注意

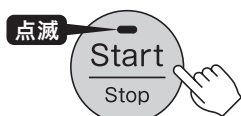
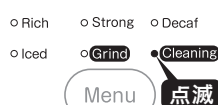
- 本体を水につけたり、水をかけたりしない。
- コーヒー豆やコーヒー粉が付着している場合は取り除く。コーヒー豆が挽けなくなるおそれがあります。→P.20



シャッター上周辺の粉残りが 気になるとき



- 1 ホッパーセット・グラインドセット・
フィルターを本体にセットする。→P.10・12
◇ペーパーフィルター・コーヒー豆・コーヒー
粉はセットしないでください。
- 2 差込プラグをコンセントに差し込む。→P.14
- 3 [Menu]キーを押して
Cleaningを選択する。→P.14
- 4 [Start|Stop]キーを押す。→P.15
◇ピーピーと音が鳴ってシャッターが開き、粉が
フィルターに落ちます。



- 5 ピッと音が鳴ったら、ホッパーセット・
グラインドセットをはずし、
本体側(グラインドセットの下)を
お手入れブラシでコーヒー粉を取り除く。



- 6 グラインドセット・ホッパーセットを
セットする。
◇グラインドセット・ホッパーセットをセット
すると、自動でシャッターが閉じます。

お湯の出具合が悪くなったとき・ いつもより抽出時間が長くなる時

◇本体内部の経路をクエン酸水で満たしてミネラル成分を取り除いた後、すすぎを行います。

◇定期的にクエン酸洗浄することをおすすめします。

- 1 ホッパーセット・グラインドセット・
フィルター・コーヒーサーバーを
本体にセットする。→P.10・12・13
◇ペーパーフィルター・コーヒー豆・コーヒー
粉はセットしないでください。
- 2 水タンクにクエン酸約10g(大さじ1杯)を
入れ、Cleaningの目盛まで水を入れてまぜて
水タンクふたを閉め、本体にセットする。
→P.13・14
- 3 差込プラグをコンセントに差し込む。→P.14
- 4 [Menu]キーを押して
Cleaningを選択する。→P.14
- 5 [Start|Stop]キーを長押し(約3秒以上)する。
(クエン酸洗浄開始)



- 6 ビーピービーと音が鳴ってクエン酸洗浄が終了(Start
ランプが消灯)したら、そのまま約10分放置する。
◇この時間で本体内部の経路のミネラル成
分を除去しています。
- 7 約10分たったら、水タンクに残ったクエン酸
水をすてて、水タンクをすすぐ。
- 8 コーヒーサーバーのお湯をすてる。
- 9 クエン酸水のお湯を取るために、水タンクの
Rich・Strong・Decafの目盛「6」まで水を入れ、
[Menu]キーを押してRichを選択した後、
[Select]キーを押して「コーヒー粉」を選択し、
1～4回ドリップする。ドリップ後のお湯はすてる。

クエン酸のお買い求めについて

お買い上げの販売店、または、「連絡先→P.23」に
記載のタイガーお客様ご相談窓口、消耗品・別売
品のご購入サイトでお買い求めください。

品名	ポット内容器洗浄用クエン酸 (約30g×4包入り)
品番	PKS型

※弊社のクエン酸は、食品添加物として使用されて
おり、食品衛生上無害です。

故障かな?と思ったら

◇修理を依頼される前に、ご確認ください。

こんなときは	ここを確認してください	こう処置してください	参照ページ
●キーを押しても、反応しない。	→ 差込プラグをコンセントに、差し込んでいますか。	→ 差込プラグをコンセントに、差し込む。	→ 14
●お湯が出ない。	→ 水タンクに水が入っていますか。	→ 水タンクに水を入れる。	→ 13
	→ 水タンクがセットされていますか。	→ 正しく確実にセットする。	→ 14
	→ 吐出口に汚れが付着していませんか。	→ お手入れする。	→ 7 19
●お湯の出具合が悪い。 (時間がいつもより長くなる)	→ —	→ クエン酸を使って本体内を洗浄する。	→ 20
●お湯がにおう。	→ —	→ クエン酸を使って本体内を洗浄する。	→ 20
●コーヒーサーバーから コーヒーがあふれる。	→ 水タンクに水を入れすぎて いませんか。	→ Rich・Strong・Decafの目盛6(アイス コーヒーのときはIcedの目盛6)を超 えて、水を入れない。	→ 13
●コーヒーサーバーの内 側が黒く変色している。	→ コーヒーサーバーの内側にコーヒー 渋が付着していませんか。	→ コーヒーサーバーをお手入れする。	→ 18 19
●ピピピと音が鳴り、 スタートできない。	→ ホッパーセット・グランドセット・フィ ルターが正しくセットされていますか。	→ ホッパーセット・グランドセット・ フィルターを正しくセットする。	→ 10~12
●水タンクに水が残った 状態でピピピと音が 鳴り、動作が停止した。	→ ホッパーセット・グランドセット・フィ ルターが正しくセットされていますか。	→ ホッパーセット・グランドセット・ フィルターを正しくセットする。	→ 10~12
●ピピピピピピピ…と 音が鳴り、Strongの ランプが点滅する。	→ コーヒー豆以外をホッパーに入れて いませんか。	→ コーヒー豆以外のものを取り除き、 差込プラグを一度抜いてから、再度 コンセントに差し込む。	→ 12
	→ グランドセットにコーヒー豆が残っ ていませんか。	→ グランドセットに残ったコーヒー豆 を取り除く。	→ 19
●挽いたコーヒー粉が フィルターにたまらない。 コーヒー豆が挽けない。	→ シャッター上周辺・グランドセット内部に コーヒー豆やコーヒー粉が残っていませんか。	→ 本体・グランドセットに残ったコー ヒー豆やコーヒー粉を取り除く。	→ 19 20
	→ グランドセットが本体に正しくセッ トされていますか。	→ グランドセットを本体に正しくセッ トする。	→ 10
●コーヒー豆がホッパー に残る。	→ ホッパーふたの内側・ホッパーがぬ れたままでコーヒー豆を入れていま せんか。	→ ①ホッパーを取りはずし、コーヒー 豆を取り出す。 ②ホッパーふたの内側やホッパーの 水分をふき取る。 ③新しいコーヒー豆でやり直す。	→ 10 12
	→ 杯数以上のコーヒー豆を入れていま せんか。	→ コーヒー豆は、ホッパーふたが閉ま る量を超えないように入れる。	→ 12
	→ 油分が多いコーヒー豆の場合、ホッパーに豆が残ることがあります。	→	→ 12

故障かな?と思ったら

こんなときは	ここを確認してください	こう処置してください	参照ページ
カップトレイ使用時 (ADG-N型のみ) •マグカップから コーヒーがあふれる。	→ 水タンクに水を入れすぎていませんか。	→ 水タンクのMugの目盛を超えて水を入れない。	→ 13
	→ カップトレイ*・マグカップが確実にセットされていますか。	→ カップトレイ*・マグカップを確実にセットする。	→ 13
	→ 指定のマグカップを使用していますか。	→ 指定のマグカップを使用する。	→ 7 13

*カップトレイは、ADG-N型のみ。

こんなときは	原因	参照ページ
•ドリッピング中にカチッと音が鳴る。	→ 抽出口を開閉するときの作動音です。故障ではありません。	→ 15
•コーヒーがぬるい。	→ Rich・Strong・Decafを選択したときは、自動的に保温しますが、時間経過とともに冷めていきます。抽出したコーヒーの量が少ない(1〜2カップ)と冷めやすくなります。	→ 16
	→ 寒冷地など、使用環境の厳しい状況では、十分な保温効果が得られない場合があります。	→ —
•できあがったコーヒーが薄い。	→ グラインド本体の突起を正しい位置に合わせる。正しい位置に合わせないと、挽き目を正しく設定できません。	→ 10
•抽出後のコーヒーに油のようなものが浮いている。	→ コーヒー豆の油分も多少抽出されます。故障ではありません。	→ —
•樹脂部品に傷(欠け)のように見える箇所がある。	→ 樹脂成形時に発生する跡で、使用上の品質に支障はありません。	→ —
•樹脂などのにおいがする。	→ 使いはじめのうちは、樹脂などのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。	→ —
•本体上部が熱くなる。	→ 本体上部にお湯が通るためです。故障ではありません。	→ —

仕様

電源	定格消費電力 (W)	最大使用水量* (L)	外形寸法* (cm)			質量* (kg)	コードの長さ* (m)
			幅	奥行	高さ		
100V 50-60Hz	911	0.85	16.0	33.3	41.2	3.6	1.0

〈グラインド使用時〉

定格消費電力 (W)	最大使用容量 (コーヒー豆) (g)	定格時間 (分)
54	60	4

*おおよその数値です。

消耗品・別売品のお買い求めについて

- ◇フィルター・パッキン・計量スプーンは消耗品です。汚れやにおい・傷みがひどくなったときは、お買い上げの販売店、または「連絡先→下記」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、消耗品・別売品のご購入サイトで買い求めください。
- ◇熱や蒸気にふれる部品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。「連絡先→下記」に記載のタイガーお客様ご相談窓口までご相談ください。

保証とサービスについて

修理を依頼される前にまず「故障かな?と思ったら」→P.21・22をご覧ください。

それでも不具合がある場合は、下記に基づき、お買い上げの販売店にご相談ください。

1 保証書の内容のご確認と保管のお願い

保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、「販売店印およびお買い上げ日」をご確認の上、内容をよくお読みになり、大切に保管してください。

2 保証期間はお買い上げの日から1年間です。(消耗品は除きます。)

保証書の記載内容に基づき修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

3 修理を依頼される時

保証期間内 …… おそれいりますが、製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。

保証期間を …… まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、
過ぎていて …… ご要望により有料修理いたします。ご相談の際、次のことをお知らせください。

とき ①製品名 ②品番(本体背面シールに表示) ③製品の状況(できるだけ詳しく)

4 補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造終了後10年です。

※部品設定、材料調達や設備状況により10年未満でも購入・修理できない場合があります。

5 修理料金とは

修理料金とは、おもに技術料と部品代で構成されています。

技術料 …… 不具合の原因を診断する作業、故障箇所を修復する作業(修理および部品交換・調整・修理後の点検など)の料金です。

部品代 …… 製品の修復に使った部品の代金です。

6 その他製品に関するお問合せ、ご質問がございましたら、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口(下記)までご相談ください。

●本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために、一部予告なく変更することがあります。

連絡先

タイガー魔法瓶株式会社

本社 〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・修理のご相談 お客様ご相談窓口

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-011101

※ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ

TEL(06)6906-2121

® 有料でご案内させていただいております。

●受付時間 AM9:00~PM5:00 月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除きます)

消耗品・別売品のご購入サイト

<https://www.tiger-forest.com/c/10mq>



修理に関するご案内・受付サイト

<https://www.tiger-forest.com/c/6PZ2>



TIGER

安心・長く愛せる

製造終了後

10年間

・消耗部品購入
・修理(有償)
できます

部品設定、材料調達や
設備状況により10年
未満でも購入・修理で
きない場合があります。

ホームページアドレス <https://www.tiger-corporation.com>

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。

愛情点検 長年ご使用のコーヒーマーカーの点検を！



こんな症状は
ありませんか

- ご使用中、電源コード・差込プラグが異常に熱くなる。
- 電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする。
- いつもより異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする。
- 水タンクや本体から水もれる。
- その他の異常や故障がある。

使用を中止し、
故障や事故防止のため
必ず販売店に点検を
ご相談ください。

タイガーコーヒーマーカー保証書

持込修理

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間内に、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、保証書の記載内容に基づき無料修理いたしますので、商品と本保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

★印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

型 名	ADG-A / ADG-N	
★お名前	様	
お客様	ご住所 〒	
電話番号		
★お買い上げ日	★取扱販売店名・住所・電話番号	
年 月 日		
保証期間(お買い上げ日より)		
本体 1年 (消耗品は除く)		

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口までご相談ください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは「保証とサービスについて」をご覧ください。

〈無料修理規定〉

- ご転居、ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理がご依頼になれない場合には、取扱説明書に記載のタイガーお客様ご相談窓口までご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買い上げ後の取付場所の移動、輸送、落下などによる故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、ガス害(硫化ガスなど)、公害や異常電圧による故障および損傷
 - 一般家庭用以外(例えば、業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷
 - 虫等の侵入による故障
 - 本書のご提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - 消耗品の交換
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

タイガー魔法瓶株式会社

〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

お客様の 個人情報の利用目的

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。